

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター
平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果

平成30年8月

岡山県

目 次

1	評価対象法人の概要	1
2	評価の実施根拠法	1
3	評価の対象	1
4	評価の趣旨及び評価者	1
5	評価方法の概要	2
	(1) 評価基準	2
	(2) 評価の手法	2
6	評価結果	2
	(1) 総合的な評定	2
	(2) 中期計画の各項目ごとの評定	2
	Ⅲ 県民に提供するサービスその他業務の質の向上	2
	Ⅳ 業務運営の改善及び効率化	3
	Ⅴ 財務内容の改善	4
	Ⅵ その他業務運営に関する重要事項	4
	(3) 評価結果等の業務運営への活用状況	5
	(4) 地方独立行政法人岡山県精神科医療センターに対する 勧告等	5

地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等 岡山市北区鹿田本町3番16号 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 理事長 中島 豊爾
- (2) 設立年月日 平成19年4月1日
- (3) 設立団体 岡山県
- (4) 資本金の額 1,202,336,883円
- (5) 中期目標の期間 平成29年度から平成33年度（第3期）
- (6) 目的及び業務

ア 目的

精神障害者の医療、保護及び発生の予防並びにこれらに必要な研究を行うことを目的とする。

イ 業務

- (ア)精神科及び神経科に関する医療を提供すること。
- (イ)精神科及び神経科に関する医療の調査及び研究を行うこと。
- (ウ)精神科及び神経科に関する医療技術者の研修を行うこと。
- (エ)前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条

3 評価の対象

平成29年度における地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの第3期中期計画（平成29年度から33年度）の進捗状況

4 評価の趣旨及び評価者

(1) 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人岡山県精神科医療センター（以下「岡山県精神科医療センター」という。）が、岡山県内の精神科医療の中核病院として、他の医療機関の模範となるような業務運営が行えるよう、業務の質の向上、業務運営の効率化、透明性の確保等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、業務の実績評価を行う。

(2) 評価者

知事

5 評価方法の概要

(1) 評価基準

地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの業務の実績に関する評価の実施基準

(2) 評価の手法

地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの自己評価の結果を活用する間接評価方式

6 評価結果

(1) 総合的な評定

知事は、岡山県精神科医療センターが地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの業務の実績に関する評価の実施基準により自己評価し提出した「平成29年度に係る業務の実績に関する報告書」を適正な評価と認め、次のとおり評定した。

岡山県精神科医療センターは、「人としての尊厳を第一に安心・安全の医療をめざす」ことを理念とし、人権を尊重し、利用者の方々の視点に立った良質な医療の提供、患者の社会参加への積極的支援、快適な治療環境の提供、精神科医療水準の向上、健全で透明性の高い病院運営に努めることとしている。

平成29年度においても、理事長の強いリーダーシップの下、職員が一丸となって機動的・戦略的な運営が行われていると認められる。

特に、民間では対応が困難である、精神科救急医療において県内で中心的な役割を担っているほか、医療従事者の手厚い配置が必要である児童・思春期精神科医療、高い専門性が求められる薬物等依存症医療、公的病院が設置することとされる司法精神入院棟の運営など、地方独立行政法人として公的な役割を担おうとする姿勢がうかがわれるものであり、積極的に評価するものである。

また、入院医療から地域移行・地域定着に向けて個々のニーズに応じた切れ目のない効果的なリハビリテーションを推進するため、「地域支援チーム」を構成し、地域での生活を安定させるため、外来患者に対する支援を充実させているところである。

最小項目別評価の結果をみると、平成29年度中の計画に掲げられた53項目中、評点4（年度計画を十分に達成）が39項目、評点3（年度計画を概ね達成）が14項目と、7割以上が評点4でありかつ、いずれも評点3以上という高い水準である。

以上、全体として、岡山県精神科医療センターが地方独立行政法人のメリットを生かし、前年度に引き続き、様々な改革を着実に実行に移している状況が十分見受けられたことから、平成29年度の業務の実績における第3期中期計画の進捗は、優れて順調と評定する。

なお、岡山県精神科医療センターは地方独立行政法人として公的な使命を有しており、県内精神科医療の中核病院としての役割を果たし、医療の質の向上を図りつつ、引き続き、県民のニーズを十分に考慮した運営が行われることを望む。

(2) 中期計画の各項目ごとの評定

Ⅲ 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上

ア 評定

中期計画の進捗状況は優れて順調

イ 理由

理事長の強いリーダーシップの下、職員が一丸となって地方独立行政法人のメリットを生かして様々な改革を継続し、着実に期待以上の成果が見受けられる。

ウ 評価した項目

① 項目数 37項目

② 特筆すべき項目

- ・多くのモデル事業を受託し、各種研修会の開催や実習生の受け入れ等により県内精神科医療の向上を図った。
- ・県民がいつでも緊急診察が受けられるよう、「決して断らない病院」として土日祝日についても救急患者を断ることが無いよう、複数の医師による診療体制を敷き、24時間365日急患に対応した。
- ・おかやまDPA T先遣隊として、有事の際に早急に活動が行えるよう中国地区DMA T大規模実動訓練へ参加し、技能の維持及び向上を図った。また、熊本震災での活動経験を生かし、厚生労働省科学研究において分担研究責任者としてDPA Tマニュアルの改訂を担った。
- ・専門の患者相談窓口を設置し、経済的、社会的な困難ケースについては早期からケースワークを開始し、必要な部署や院外関係機関とも連携を図った。また、患者はもちろんその家族に対するメンタルヘルスケアにも注力した。
- ・優れた医療従事者を確保するため、育児時間の取得、子育てや家族の介護等に配慮した職場環境を創出し、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みを促進した。
- ・医療、行政、障害福祉、介護等の関係機関と連携しながら、入院早期から退院後まで切れ目ないサービスを提供し地域移行・地域定着支援を強化した。また、外来患者については、地域での生活を安定させるため、「地域支援チーム」を結成した。

IV 業務運営の改善及び効率化

ア 評定

中期計画の進捗状況は優れて順調

イ 理由

医療現場の働きやすさや質を保ちながら、現場の発想を生かした効率的な業務と予算の執行に努め、業務運営の不断の見直しを行った。

ウ 評価した項目

① 項目数 8項目

② 特筆すべき項目

- ・職員が自主的に業務改善に取り組むよう、「職員提案制度」を構築し、業務改善に係るアイデアや取組を病院全体で共有した。

- ・従来からの業務を見直すことで、事務手続きの簡素化を図り業務効率を上げることができた。また、複合的な契約にすることによって委託費の抑制を行った。

V 財務内容の改善

ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

イ 理由

経常収支比率等の経営管理指標が良好な水準にあり、県内の精神科医療の中核病院としての役割を果たしつつ、財務内容の健全性を維持している。

ウ 評価した項目

- ① 項目数 2項目
- ② 特筆すべき項目

- ・効率的な病床管理による病床利用率の確保、未収金対策などの収入確保に努めるとともに、さらなる収入確保のため、一部病棟の種別変更を行い入院診療単価の向上を図った。

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収支比率（経常収益／経常費用）	108.7%	101.8%	101.9%
医業収支比率（医業収益／医業費用）	97.8%	90.8%	91.7%
人件費比率（総人件費／医業収益）	71.6%	77.7%	79.0%

VI その他業務運営に関する重要事項

ア 評定

中期計画の進捗状況は優れて順調

イ 理由

多様化する生活形態に対応するため、各種制度の見直しや家族休暇、育児休暇等が取得しやすい職場環境づくりや超過勤務の管理等により、職員の心身の健康面に配慮した。

また、個人情報の取扱いについての情報管理体制を強化を図るため、職員研修を実施した。

ウ 評価した項目

- ① 項目数 6項目
- ② 特筆すべき項目

- ・職場復帰後も家庭と仕事が両立できるよう、多様な勤務形態や特別休暇「育児時間」「家族休暇」の取得を促進し、ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場環境づくりに努めた。
- ・全職員を対象として個人情報保護に関する研修会を実施し、職員の個人情報に対する意識の強化を図った。

(3) 評価結果等の業務運営への活用状況

精神科救急医療において県内で中心的な役割を担っているほか、医療従事者の手厚い配置が必要である児童・思春期精神科医療、高い専門性が求められる薬物等依存症医療、公的病院が設置することとされる司法精神入院棟の運営など、地方独立行政法人として公的な使命を果たしつつ、医療の質の向上に努めた。

(4) 岡山県精神科医療センターに対する勧告等

該当なし